

尾鷲のご当地^{ぶち}検定

あなたのふるさと自慢 試してみませんか

自慢のふるさと、尾鷲の宝、文化財を未来につなぐ地域への関心を高めていこうと、「ご当地検定」を開催します！尾鷲市にある文化財を軸に、歴史、文化、産業、観光、自然、風土など多分野にわたり、尾鷲の理解度を認定する検定です。今回の対象エリアは、天狗倉山～まちなか（旧市街地）～八鬼山です。

みんなで一緒に学ぼう！



地域の達人に教わる勉強会

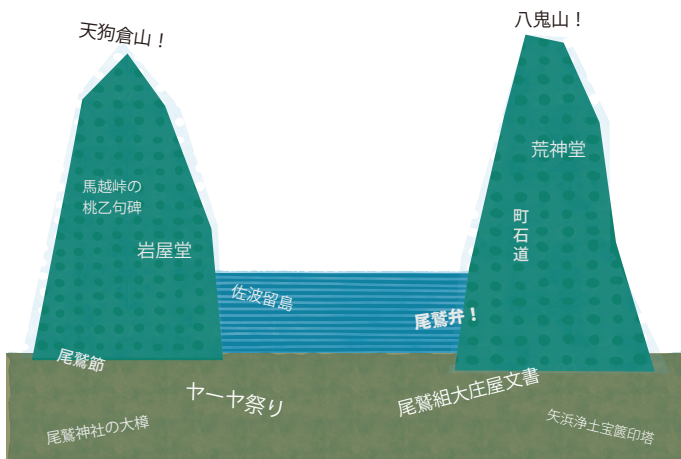
専門家の市民講座

信仰と観光を語るシンポジウム

ご当地検定

令和3年3月上旬開催

初級50人・中級50人



2020
8/17
(月)

まずは、みんなで一緒に学ぼう！

会場：天満荘にて

尾鷲市天満浦161

受講無料 オンライン対応

講座 15時～16時30分

福田良彦さん(三重県総合博物館みえむ)

■地域の文化財をいかす

エコミュージアムって何、事例紹介

民俗調査のこと(祭り、行事・食文化・諸職)

尾鷲の記憶は何?

海の関わり・山の関わり・普段の暮らしから、財産は人[ふくた・よしひこ]民俗学調査を約30年、仕事でも文化財保護に携わる。住民主体のエコミュージアムに関心をもち、「宮川流域エコミュージアム」の立ち上げから運営までに関わる。地元民間団体に所属し地域おこし活動。最近では、大曾根浦の注連縄行事を調査。

勉強会 19時～20時30分 「よるしゃべ」共催

野田敦美さん(尾鷲古文書の会)

■八鬼山のベロ出し地蔵と墓碑一考察

ベロ出し地蔵が意図することは?

墓碑からはじまった壱岐との交流

[のだ・あつみ]元・賀田小学校校長。熊野古道語り部。「尾鷲組大庄屋古文書」をはじめ道中記など、長年にわたり資料の研究を続ける。

アドレス誰のに? (Zoomでのオンライン申し込みは、こちらのメールでご予約をお伝えください)

入場制限:聴衆12名+スタッフに限定します。事前の申し込み、ご予約をお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の影響で、日程等変更する場合がございます。

スタッフマスク着用、会場の換気・消毒など適切な感染防止対策を徹底します。マスクの着用をお願いします。入場時の手のアルコール消毒を実施します。

※発熱や咳等の風邪症状がみられる方は参加できません。※高齢の方や基礎疾患をお持ちの方で、感染リスクを心配される方は参加をご遠慮いただくようお願いいたします。

未来のおわせ向上計画実行委員会

協力：尾鷲市、尾鷲市教育委員会、三重大学地域拠点サテライト・東紀州サテライト、天狗倉山まるごとプロジェクト、八鬼山荒神堂保存会、おわせふるさとガイドの会、尾鷲セラピストの会、尾鷲市文化財調査委員、尾鷲古文書の会、尾鷲藪漕隊、協同組合 尾鷲観光物産協会

三重県尾鷲市中井町 12-14 (尾鷲観光物産協会内) TEL: 0597-23-8261 FAX: 0597-23-8263 <https://owasekankou.com>